

「ロイヤルSSS構法」が2013年度グッドデザイン賞を受賞

～木の性質を最大限活かし、昔ながらの匠の技「引き寄せの技」を再現～
木造建築の美しさを表現したロイヤルSSS構法

工務店向け地場工務店支援型の木造住宅FC本部を運営するロイヤルハウス株式会社（代表取締役森田勉、愛知県名古屋市）は、当社のオリジナル工法である「ロイヤルSSS構法」が公益財団法人日本デザイン振興会の主催する2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。昨年度受賞の「外暮らしの家」に続き、二年連続の受賞となります。

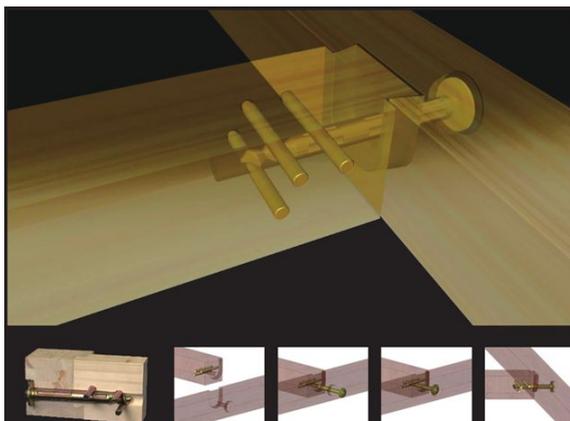
グッドデザイン賞は、デザインが「暮らしを、社会を、豊かにしうるのか」つまり、デザインの効果・効用という視点から評価が行われます。

ロイヤルハウスは、日本の住まいには、風土や気候に適した木に囲まれた住宅が一番だと考え、木造住宅の普及に努めてまいりました。しかしながら、現在主流となっている木造住宅は、接合部の強度を高めるために、接合部に金物を使うため、内側に向かって収縮する性質のある無垢材では経年劣化による収縮等が避けられず、長く住まう間に徐々に接合部が弛んでしまうという課題が残されていました。

「ロイヤルSSS構法」は、木の内部に金物を埋め柱の中心部でしっかりと接合することで、今まで木の弱点であった内側に向かって収縮するという性質を活かしながら強度を高める、逆転の発想から生まれた構法です。経年劣化による接合部の弛みのない、天然素材である木が持つ本来の、強さ、美しさ、しなやかさ、心地よさなどを活かせる画期的な構法といえます。

【ロイヤルSSS構法の特徴】

①引き寄せの技



木の中に金物を捻じってとめる構造。金物を木に埋めるため、塩害や炭化現象により火災転倒防止にもなり、時間が経過するほどに木が締まり接合部が強固になる。

②施工の安定性

金物を木芯で捻じめるだけのシンプルな施工で、施工者の経験に頼らずに匠の技を再現することができるため、品質のばらつきを押さえ、一定の品質の木造住宅を安定的に供給。



③木造建築の伝統的な美しさ



在来仕口と金物を組み合わせた構法で、無垢材にも適合するため、強度を保ちながら日本の伝統的な木造建築の象徴である木組みの美しさを現代建築において表現できる。

※竹富島の御嶽にも採用

ロイヤルSSS構法を使用した御嶽の屋根組み（ヒノキ材使用）。

④木の材種も建築地域も選ばない

北海道から沖縄の離島まで、全国で建築が可能。建築地域に応じて、その地域の県産材を使うこともでき、地域特性に応じた住宅を建築できる。



<ロイヤルハウスについて>

ロイヤルハウスは、2011年に沖縄県に加盟工務店網ができ、現在は北海道から沖縄まで全国100店を超える加盟店をかかえています。本賞の受賞により、全国各地への木造建築・住宅の更なる普及、地域の工務店の一層の活性化を目指しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

ロイヤルハウス株式会社 経営企画室 担当：落合 佐和子

TEL : 03-6680-2615 / FAX : 03-6672-5506

Mail : info@royal-house.co.jp